

作成日：2025年 4月14日

改訂日：2026年 6月29日

安全データシート

整理番号：S-106

1. 製品及び会社情報

製品名 : サラするり 480ml
会社名 : 株式会社セハージャパン
住所 : 〒101-0021 東京都千代田区外神田3-6-4
担当部門 : 営業部
電話番号 : 03-3525-7081
FAX番号 : 03-3525-7089
緊急連絡先 : 同上
推奨用途及び使用上の制限 : 食品機械器具、食品容器の離型、潤滑、防錆

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

エアゾール : 区分1

健康に対する有害性

特定標的臓器毒性（単回ばく露） : 区分2
区分3（麻酔作用）

特定標的臓器毒性（反復ばく露） : 区分1

上記に記載がない危険有害性は、区分に該当しない又は分類できない

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル :



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : 極めて可燃性の高いエアゾール
高圧容器：熱すると破裂のおそれ
眠気又はめまいのおそれ
臓器の障害（循環器系）
長期にわたる又は反復ばく露による臓器の障害（中枢神経系）

注意書き

安全対策 : 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
裸火又は他の着火源に噴霧しないこと。
使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

応急処置 : 気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。
気分が悪いときは医師に連絡すること。

- ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。
- 吸収した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 貯蔵：換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
- 日光から遮断し、40℃以上の温度にばく露しないこと。
- 廃棄：内容物／容器を地方／国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報（危険有害性物質を対象）

化学物質・混合物の区別：混合物

組成及び成分情報

成分名（別名）	CAS No.	濃度又は濃度範囲 （重量%）	化学式 又は構造式
トリアシルグリセロール	非開示	70～75%	非開示
プロパン	74-98-6	10～20%	C ₃ H ₈
ノルマルブタン	106-97-8	10～20%	C ₄ H ₁₀
イソブタン	75-28-5	1～10%	C ₄ H ₁₀

注記：これらの値は、製品規格値ではありません。成分の含有量について企業秘密であるものは範囲で記載。

労働安全衛生法・化学物質管理促進(PRTR)法該当成分については、「15. 適用法令」を参照下さい。

4. 応急措置

- 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪いときは医師に連絡すること。
- 皮膚（又は髪）に付着した場合：付着物を清浄な乾いた布で素早く拭き取る。
溶剤、シンナーを使用してはならない。
皮膚に付着した場合：多量の水/適切な薬剤で洗うこと。
外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪いときには医師の診断を受ける。
- 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の中に全て水が行き届くように洗浄する。
眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合：嘔吐物を飲み込ませてはならない。
医師の指示のない場合は、吐かせてはならない。
負傷者を安静にし直ちに医師の診察を受ける。
- 応急処置をする者の保護：救助者はゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。
適切な換気を確保する。

5. 火災時の措置

消火剤

- 適切な消火剤：火災の場合は、泡、粉末、炭酸ガスを使用する。
- 使ってはならない消火剤：データなし
- 特有の消火方法：高温にさらされる密封容器は水をかけて冷却する。
消火活動は風上より行う。
可燃性のものを周囲から素早く取り除く。
エアゾール製品の場合、高温で破裂する恐れがあるため消火活動は距離を十分に取る。
- 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置：適切な保護具（耐熱性着衣など）を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項／保護具及び緊急時処置

- ： 作業の際には適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等）を着用する。
- ： 周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。

環境に対する注意事項： 河川への排出等により、環境への影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

- ： 漏出物は、密封できる容器に回収し、安全な場所に移す。
- ： 付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置すること。

二次災害の防止策： 着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。
： 付近の着火源・高温体および付近の可燃物を素早く取り除く。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

- （取扱者のばく露防止）： 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- （火災・爆発の防止）： 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
裸火または他の着火源に噴霧しないこと。

安全取扱注意事項： 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。

接触回避： 酸化性物質との接触を避けること。

衛生対策： 取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

保管

- 安全な保管条件： 換気の良い場所で保管すること。
- （避けるべき保管条件）： 日光から遮断すること。
温度が40℃以上のところで保管しない。
- 安全な容器包装材料： データなし

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度

- （n-ブタン）日本産衛学会(1988) 500ppm; 1200mg/m³
- （イソブタン）日本産衛学会(1988) 500ppm; 1200mg/m³
- （プロパン）ACGIH: 付録F参照: 最小酸素濃度(D,EX) (窒息)
- （n-ブタン）ACGIH(2017) STEL: 1000ppm(EX) (中枢神経系障害)
- （イソブタン）ACGIH(2017) STEL: 1000ppm(EX) (中枢神経系障害)

設備対策： 適切な換気のある場所で取扱う。
排気/換気設備を設ける。

保護具

- 呼吸器用保護具： 呼吸用保護具を着用すること。
- 手の保護具： 保護手袋を着用する。
- 眼の保護具： 保護眼鏡／顔面保護具を着用する。
- 皮膚及び身体の保護具： 保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

- 物理状態： 液体
- 色： 淡黄色
- 臭い： 特有臭
- 融点／凝固点： データなし

沸点又は初留点	: プロパン -42℃
沸点範囲	: データなし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	
爆発下限	: 1.8 vol %
爆発上限	: 9.5 vol %
引火点	: 内容液：254℃ / プロパン：-104℃
自然発火点	: 内容液：393℃ / n-ブタン：365℃
分解温度	: データなし
pH	: データなし
動粘性率	: データなし
水に対する溶解度	: 不溶
蒸気圧	: データなし
密度及び／又は相対密度	: 0.75～0.79（製品として） / 内容液：0.915～0.921
相対ガス密度（空気＝1）	: データなし
20℃での蒸気/空気-混合物の相対密度（空気＝1）	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: データなし
化学的安定性	: エアゾール製品の場合40℃以上になると缶が破裂する恐れがある。
危険有害反応可能性	: 酸化性物質等と触れると反応する危険性がある。
避けるべき条件	: 加熱、スパーク、裸火、及びその他の発火源は避ける。
混触危険物質	: 酸化性物質
危険有害な分解生成物	: 燃焼により、一酸化炭素、窒素酸化物、その他低分子モノマーなどの有害ガスが発生する。

11. 有害性情報

急性毒性（経口）	: データ不足のため、分類できない。
急性毒性（経皮）	: データ不足のため、分類できない。
急性毒性（吸入）	: データ不足のため、分類できない。
[成分データ]	(n-ブタン) gas : rat LC50=276798.8ppm/4hr (DFGOT vol.20, 2003) (イソブタン) gas: mouse LC50=376696ppm/4hr (cal.) (DFGOT vol. 20, 2003)
皮膚腐食性／刺激性	: データ不足のため、分類できない。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	: データ不足のため、分類できない。
呼吸器感作性	: データ不足のため、分類できない。
皮膚感作性	: データ不足のため、分類できない。
生殖細胞変異原性	: データ不足のため、分類できない。
発がん性	: データ不足のため、分類できない。
生殖毒性	: データ不足のため、分類できない。
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	: 区分2 臓器の障害のおそれ 区分3 眠気又はめまいのおそれ
[成分データ]	区分1（イソブタン）循環器系 (Patty 6th, 2012; DFGOT vol. 20, 2003) 区分3（プロパン）麻酔作用 (ACGIH 7th, 2001) (n-ブタン) 麻酔作用 (DFGOT vol.20, 2003; ACGIH 7th, 2001) (イソブタン) 麻酔作用 (DFGOT vol.20, 2003)
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	: 区分1 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害
[成分データ]	区分1（n-ブタン）中枢神経系 (DFGOT vol.20, 2003; PATTY 6th, 2012)
誤えん有害性	: データ不足のため、分類できない。

1 2. 環境影響情報

生態毒性	: データなし
水生環境有害性	: データなし
水溶解度	: (プロパン) 0.007 g/100 ml (20℃) (ICSC, 2003) (n-ブタン) 0.0061 g/100 ml (20℃) (ICSC, 2003) (イソブタン) 溶けない (ICSC, 1998)
残留性・分解性	: データなし
生体蓄積性	
[成分データ]	(プロパン) log Pow=2.36 (ICSC, 2003) (n-ブタン) log Pow=2.89 (ICSC, 2003) (イソブタン) log Pow=2.8 (ICSC, 1998)
土壤中の移動性	: データなし
オゾン層への有害性	: データなし
その他情報	: 漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取り扱いに注意する。 特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

1 3. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

廃棄物の処理方法	: 環境への放出を避けること。 内容物／容器を地方／国の規則に従って廃棄すること。 エアゾール製品の場合は、焼却処理を行わないこと。 エアゾール製品の場合は、中身を完全に使い切り、火気のない戸外で噴射音が消えるまでボタンを押し、ガスを完全に抜いてから捨てる。 中身の入ったものは絶対に廃棄しない。 ガスを抜く際には、火気及びミストの吸入などについて注意すること。
汚染容器及び包装	: 使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。

1 4. 輸送上の注意

国連番号	: 1950
品名(国連輸送名)	: エアゾール(引火性のもの 1Lを超えない)
国連分類	: クラス2.1(引火性高圧ガス)
容器等級	: 非該当
海洋汚染物質	: 非該当
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	: 情報なし
国内規制がある場合の規制情報	
船舶安全法	: ガス類 引火性ガス 分類2 区分2.1
航空法	: 高圧ガス 引火性ガス 分類2 区分2.1
緊急時応急措置指針番号	: 126
特別規定番号	: 63, 190, 277, 327, 344, 381

1 5. 適用法令

化学物質排出把握管理促進(PRTR)法	: 非該当
労働安全衛生法	: 危険物・可燃性のガス(プロパン、ブタン) 規則 別表第2 名称等を表示かつ通知すべき危険物及び有害物 ブタン ※噴射剤成分 プロパン ※噴射剤成分
毒物及び劇物取締法	: 非該当
高圧ガス保安法	: 適用除外

このエアゾール製品は容器内容積が1リットル以下、及び温度35℃において圧力0.8MPa以下、かつ高圧ガス保安法施行令関係告示第四条第三項に該当するため、高圧ガス保安法の適用除外となります。

消防法 : 指定可燃物 (可燃性液体類)
大気汚染防止法 : 揮発性有機化合物(VOC) 法第2条第4項
プロパン, n-ブタン, イソブタン

16. その他の情報

参考文献 : Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 22nd edit., 2021 UN
IMDG Code, 2022 Edition (Incorporating Amendment 41-22)
IATA 航空危険物規則書 第65版 (2024年)
2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
2024 TLVs and BEIs. (ACGIH)
JIS Z 7252 : 2019
JIS Z 7253 : 2019
2023 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)
厚生労働省 基安化発0111第1号(令和4年1月11日)
Supplier's data/information
Hazard Communication Standard - 2012 (29 CFR 1910.1200)

記載内容の取扱い : このSDSは、JIS Z 7253 (2019) に準拠して作成しています。
記載された内容は、入手できた情報やメーカー所有の知見によるものですが、記載のデータや危険、有害性の評価に関してはいかなる保証をなすものではありません。又、法令の改正及び新しい知見に基づいて改訂されることがあります。
記載された注意事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特殊な取扱いの場合には、ご使用者の責任において、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。
すべての化学物質には未知の危険性、有害性が存在するという認識で、開封から保管、廃棄に至るまで、細心の注意を払ってご使用ください。
本品の適正に関する決定は、使用者の責任において行ってください。